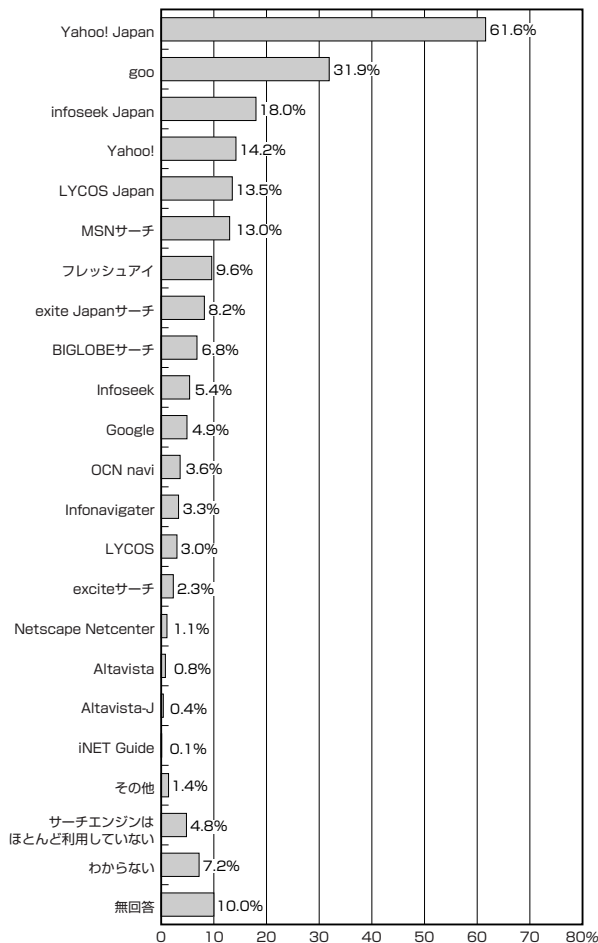


第3章 パソコン利用者

検索エンジン/ポータルサイト

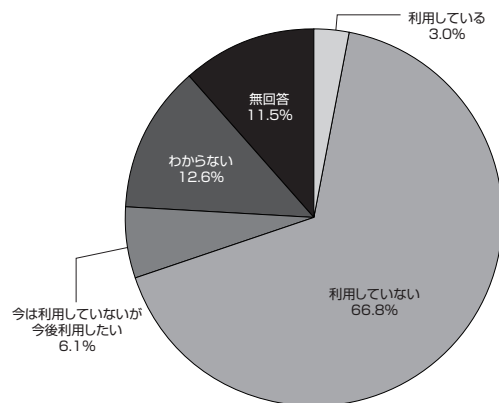
Google登場でも61.6%はヤフー

資料 1-3-21 利用サーチエンジン（検索サービス） N=1,684



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-22 「パーソナライズドサービス」の利用有無 N=1,684



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

解説

■検索エンジン・ポータルサイト

サーチエンジンや検索サービスの利用についてはパソコンインターネット利用者の約8割が利用している。1人当たりの利用数は2.1種類であったが、昨年、一昨年と比較すると徐々に少なくなっている。昨年の調査で68.8%だった「Yahoo! Japan」も、順位は1位ではあるものの61.6%となった。また、2位、3位の「goo」「infoseek Japan」も、その順位は変わらないものの利用率を落としている。上位が利用率を落とすなかで伸びたのは昨年に引き続き「LYCOS Japan」（13.5%）

である。また、今年の特徴はシンプルなユーザーインターフェイスと検索の質の高さで評価を得た「Google」が初登場で4.9%を獲得。そのGoogleのエンジンを利用した同じく初登場の「BIGLOBEサーチ」も6.8%の支持を集めている。特に「Google」は今年2月27日からiモード対応に踏み切ったことや「goo」との提携が今年3月に切れたYahoo!が新たに提携を決めたことで、今後も各社の検索サービスやポータルサイトのトレンドに影響を与えることが予測される。

また、ポータルが無料で用意している、

個人向けに必要な情報内容をカスタマイズして表示する、いわゆるパーソナライズドサービスについての利用は3.0%と非常に低くなっている。実際の利用率が低いせいか、今後の利用意向についても6.1%とそれほど高くない。

■スタートページ/ 個人ホームページ

スタートページの設定とはブラウザを起動させた時、最初に表示されるページ設定のことだが、複数のブラウザを利用している場合にはそれぞれ異なる場合があるので、ここでは主に利用している1



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp